

せせらぎ



一年を振り返って

PTA 会長

佐藤 千春

春色の候、皆様におかれましては、益々ご清祥のことと拝察いたしております。

本年度も、PTA 活動への皆様のご理解、ご協力のもと活動を進めることができ、感謝いたしております。

さて、本題に入りますが、本年度は良くも悪くも色々なことが起きた年でした。良い

令和元年度の教育活動におきまして、保護者・地域並びに関係機関の皆様にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

平成十六・十七年に生まれた十四名の三年生は令和時代最初の卒業生となります。皆さんが生まれたこの年にはアテネオリンピックで北島康介選手が日本勢が大活躍し、栄光の架け橋が大ヒットしました。義務教育を終了するここに至るまで皆さんと家族にとつて平らな道ではなかったかもしれません、確かに歩んできた十五年間でした。そして今、皆さんは、まさに苦し

規約を見るきっかけにもなりました。

悪い方は記憶にまだ浅い台風による災害です。かなりの雨量になり私の自宅前の川も過去の記憶にないぐら増水し、これは氾濫するのではと感じ、避難を判断しました。入遠野の各地域でも被害に遭われ、ご苦労した方もいたと思います。川沿いや、その周辺では未だにその爪痕が残されています。

ここからは、本年度の P T A 活動について報告します。



不便益

校長 川上 一美

みや悲しみの先にある栄光に向かつて進んでいます。将来も苦悩から逃げ出さず夢を叶えて欲しいと願っています。

令和二年正月の新聞にトヨタ自動車構想しているウーブンシティ(もの・サービスが結びつく都市)が大きく掲載されました。富士山麓に夢のような未来都市ができるのもそう遠くないことでしょうか。かつて幾つかの不便を体験している私達大人は、今の便利

令和元年度
第 2 号
発行責任者
P T A 会 長
佐藤 千春
PTA 教養委員長
鈴木 江理

卒業に寄せて

P T A 三年委員長
鈴木 広美

不安と希望を胸に入學したのがつい昨日のような気がしますが、月日が経つのは本当に早いもので幼さが残っていた子供達も、今では頼れる存在になり心身共に立派に成長したと感じています。

十四人で協力し、励まし合っ

新しい環境で、新しい生活が始まりますが、夢と目標を持つて頑張ってほしいと願っています。

最後に先生方や保護者、地域の皆様には大変お世話になりました。感謝致します。ありがとうございました。

今年度の生徒会活動

生徒会長 鈴木 光琉

今年度の生徒会は昨年度に引き続き「Aggressive Challenge」を目標に掲げ日々活動を行ってきました。

例えば、生徒会長サミットやいわき志塾等への参加を積極的に行うことができました。ヤングアメリカンズに関しては朝会で全校生徒に紹介しました。それにより全校生徒の生徒会活動への意識の向上につながったと思います。また、赤い羽根募金等の活動は皆さんの協力のおかげで十二分に成果を出すことができました。今後も生徒会役員を中心にみんなで支え合い、より活気のある入中を目指して行っていきたいと思います。

暮らししていました。住まいの電気回路に故障が生じ修理屋へ電話しました。すぐに行くよ、というので待っていました。その間懐中電灯とランプの不便な暮らしでしたが、家庭での話に花が咲き心穏やかな時間を送りました。二日後平然と修理屋が登場。作業を終え彼は「旦那、インドにいるうちは、ノーハリ・ノーウオリー(そんなに急ぐなよ・そんなに心配するなよ)でいた方がいいですよ。」と言いつつ去って行きました。不便だと色々工夫もしますし、新しい発見もあり人と人の距離も近くなりました。

I T ・ A I と不便益を組み合わせて生活することは、心にゆとりをもち遅く生きていくために大切なことだと思います。パソコンが動かなくなったら、機能を利かせて一杯でプレゼンをする、電車が止まったら、歩くだけの気力・体力を養うことも家庭教育と学校教育の役割です。入遠野には地域力もあります。人との関わり温かさを実感し、地域の今昔を知れば郷土愛が芽生え育ちます。少し強引ですが I T は入遠野、A I は愛と読めます。東日本大震災は現代社会の持つ矛盾をあぶり出し、人と人との絆を見つめ

直す機会になりました。I T ・ A I 一辺倒では I T A I めに遭うかもしれません。不便もまた良しとする心を忘れずに生きたいものです。



卒業を迎えて

三年担任 磯上 優美

三年生十四人との出会いに感謝しています。この三年間一日一日がかけがえのないものでした。教師として、三年間担任ができる、それも学年全員の担任ができるということは最高の幸せでした。一人一人と笑ったり、悩んだり、怒ったり、今思い返してもその一瞬一瞬を愛おしく思います。私自身も教師として大きく成長できた三年間でした。

これも保護者のみなさまの支えがあつてこそでした。子どもたちへの深い愛情を持ち、担任である自分と同じ方向で進んでくださることを実感する日々でした。あらためて深く感謝申し上げます。

心の支え

三年副担任 佐藤 友昭

春三月、植木も長い休みから目覚め庭木の手入れや移植に最適な季節となります。中学校の卒業は、義務教育九年間の学校での生活を終了する大きな分岐点でもあります。

今までに家族や友達との係りの中で心に肥料をやり心の支えや枝葉の剪定により一人一人がそれぞれのよさを生かし心に若木を成長させてきたのではないかと思います。

卒業を境に、自分の身を置く環境を選択し、自分の力で適応して行かなければならずそんな時に、今まで経験したことが、日々の糧となり、心を支えてくれるものとなると思います。

中学生生活の思い出

芦間 俊祐

三年間で印象に残っていることは、芋煮会です。

なぜなら後輩達や先輩方とよく触れあえたのが芋煮会だったからです。芋煮会で、友達や先生と外で食べるのができてとても楽しかったです。この思い出を大切にしたいと思います。

池藤 千尋

私の中学校生活の思い出は修学旅行です。十四人全員で過ごした二泊三日はとても楽しかったです。特に東京ディズニーランドでは女子と磯上先生でアトラクションを満喫することができました。また明治神宮で合格祈願をしたので、叶うよう頑張りたいです。

小澤 慎海

私の中学校生活の思い出は文化祭です。今まで私は人前で発表するのが苦手でしたが、三年間の文化祭で、恥を捨てて舞台上に立てたので、一番自分が成長できた行事だと思えます。高校生になれば更に多くの人の前で発表する機会があるので頑張ります。

小澤 優太郎

僕の中学校生活の思い出は修学旅行です。自分達で、時間、行き方など細かく計画を立てました。本番では、アクシデントもありましたが、何とか対応し達成することができました。この活動で準備の大切さを知ったので、この経験をこれから生かしたいと思います。

佐藤 碧

野球部で活動してきたことが一番印象に残っています。仲間と喜びを分かち合ったり友達がたくさん増えたりしたのは野球のおかげだと思っています。最高の仲間と野球ができたことは、かけがえのないことです。本当に、ありがとうございました。

佐藤 くるみ

私の中学校での思い出は部活動です。私はケガもあり選



手としてではなく、スコアラーとして活動しました。他の中学校ではあまりできない貴重な経験で、学ぶことがたくさんありました。この経験で培った技術を今後何らかの形で活かしたいと思っています。

佐藤 菜夏

私の中学校生活で印象に残っていることは、やはり文化祭です。文化祭の準備ではステージで発表する内容を決めたり、ダンスの練習をしたりしました。また、あともう少しで卒業となってしまうので一日一日を大切に、中学校生活を楽しみたいです。

鈴木 一朗

中学校生活で一番心に残っている思い出は、三年生の春に初めての制服に袖を通して三年一組の教室に入ったことです。六年生まで一緒に生活していた友達に再会することに対して緊張も少しありましたが、喜びが圧倒的に勝ったことを覚えています。

鈴木 光琉

三年生の初めにあった修学旅行が思い出として深く残っ



ています。その中でも班別研修の際には、計画通りにはしなかったことや駅でのハプニング等がありました。それがとても良い思い出として心に残っています。

鈴木 領大

これまでの中学校生活の中心でくずのは祭がとても心に残っています。仲間と力を合わせてやり終えたときの達成感は今でも忘れられません。そしてここまですべてを支えてくださっ

た先生方、クラスのみんな、本当にありがとうございました。

平子 瑞希

私は卓球部の活動が最も印象に残っています。勝てずに悩んだ時も、格上の相手に勝った時も、側にいたのは卓球部のみんなでした。上下関係なくこんなにも楽しく、充実した日々を過ごせたのは、入中だからだと思っています。ありがとうございました。

中面 綾乃

私の中学校生活の思い出はクラス全員で過ごしてきた何気ない毎日です。私達のクラスは、とても明るく、笑顔が絶えない楽しいクラスです。嫌なことがあり落ち込んでしまっても、明るいクラスのおかげで毎日楽しく過ごすごうことができました。

久野 遼人

僕は、三年間の中学校生活を送ってきた、親や友達、先輩や先生方に迷惑ばかりかけてしまいました。ですが、たくさんの方々に支えてもらいながら三年間過ごすことができてとても感謝しています。三年間の中学校生活を楽しく送ることができてよかったです。

山野 幸人

僕が一番の思い出は修学旅行です。理由は夜までずっと友達と遊んだり、話をしたりしたのがとても楽しかったからです。もう離れ離れになってしまいましたが、この思い出をいつまでも忘れずにいたいと思います。

総務委員会

平子 ユカ

総務委員会では、遠野町連P球技大会、くずのは祭での軽食販売等の活動を行いました。連P球技大会では、練習から、前日の準備及び当日の参加等、くずのは祭では、軽食販売など、先生方、役員の方々はじめ保護者の皆様の御協力のおかげで無事に終えることができました。心より感謝申し上げます。

来年度も、皆様のご支援及び協力のもと、活動をしていきたいと思っておりますので、よろしく願います。

教養委員会

鈴木 江理

教養委員長に就任してから、あつという間の一年間でした。学校行事の時は皆さんの協力をいただき成功を収めることができました。大変感謝しております。私自身初めてのことであったが、充実した一年間でした。親子共に成長することができました。役員をさせていただいたことで、先生方や保護者の皆様との交流も深めることができ嬉しく思っています。今後、この一年間で学んだことを活かしていきたいと思えます。

編集後記

お忙しい中寄稿いただいた方がとうございました。おかげさまで、今年度の「せせらぎ」も無事発行できました。